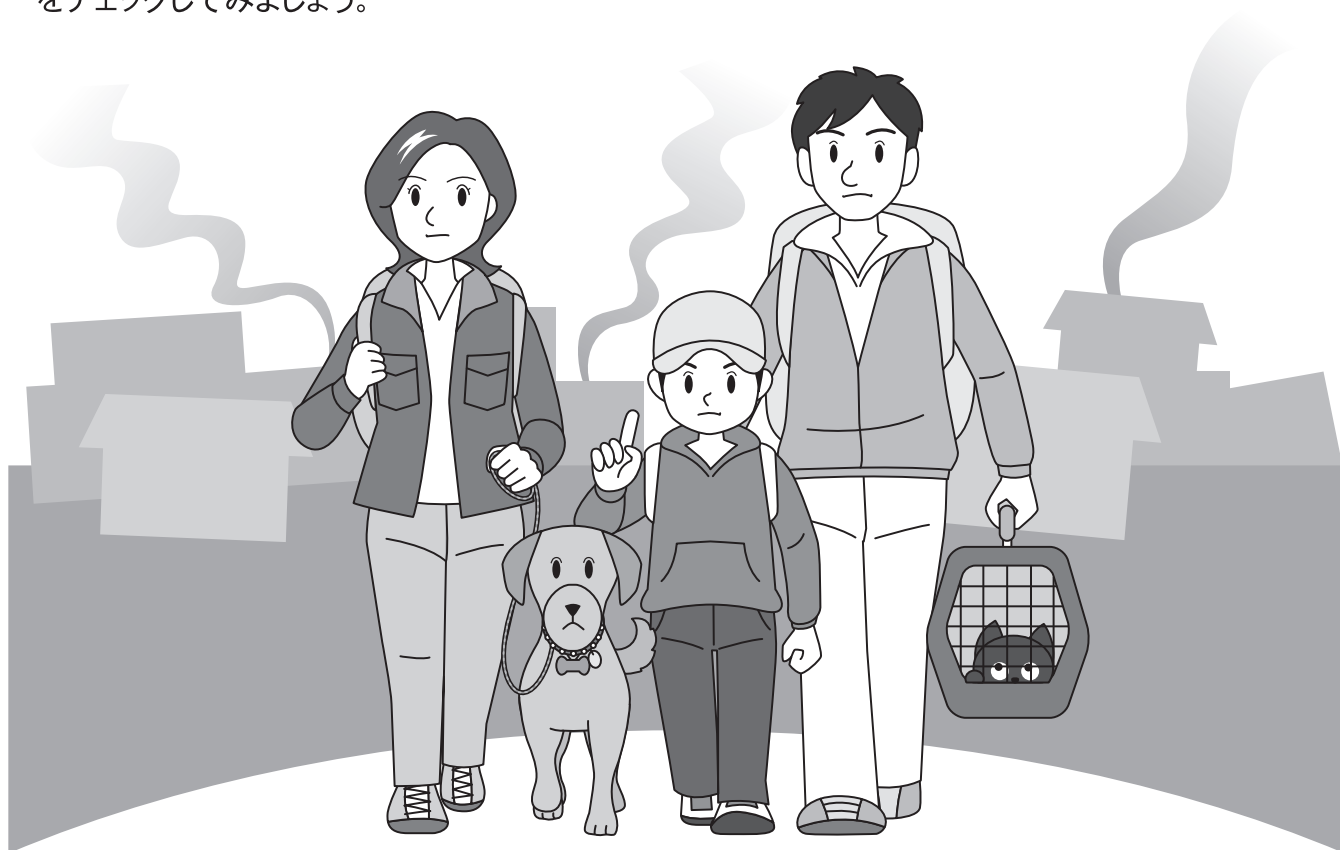


同行避難(どうこうひなん)、できますか？

あなたと愛犬・愛猫の「一緒に避難できるか度」チェック

災害は突然におそってきます。いつ、どこで発生するか誰にもわかりません。危険が迫った時、避難が必要になった時はどうすればよいか、普段からあらゆる事態を想定し準備しておくことが大切です。また自力で避難することが困難な方(災害時要援護者／高齢者や介助を必要とする方、乳幼児など)が家族におられる場合は、特に家族内での役割分担や避難方法を話し合っておく必要があります。そして、犬や猫などペットと一緒に暮らしておられる方は、ペットと一緒に避難ができるように備えておいてください。

ペットと一緒に避難するための20の質問を用意しました。あなたの「一緒に避難できるか度」をチェックしてみましょう。



災害は突然に起こります。

**いざというとき、あなたの家族とペットが
ともに安全に避難することができるよう
日頃からの心構えと備えが大切です。**

同行避難(どうこうひなん)、できますか？

あなたと愛犬・愛猫の「一緒に避難できるか度」チェック

「はい」なら□に✓印を入れてください

1. 家具が倒れたりガラスが割れて飛び散ったりしないよう、住まいの安全対策には普段から心がけている。
2. 災害の発生時、家族同士の連絡方法や避難場所など話し合って決めている。
3. 災害時でも情報が収集できるよう、その入手方法（携帯電話でのツイッターなど）を調べてある。
4. 決められた避難場所がどこで、そこまでの経路や所要時間を調べてある。
5. 実際にペットを連れて避難場所まで行ったことがある。
6. 自分や家族と一緒に連れて避難が可能な頭数、動物種を飼育している。
7. 住んでいる地域で行われる防災訓練や避難訓練には参加している。
8. 飼い主以外の人に撫でられたり触られたりしても平気でいられる。
9. 愛猫は放し飼いにせず、室内飼育をしている。
10. 普段から 迷子札や鑑札、マイクロチップなど、飼い主が誰なのか、連絡先がわかるものを付けている。
11. 愛犬や愛猫の最近撮った写真を携帯電話に入れてある。
12. 定期的な健康診断でワクチン接種やノミ・ダニ予防など健康管理は万全だ。
13. 愛犬の登録と毎年の狂犬病予防接種は済ませている。
14. 不妊手術は済ませている。
15. 緊急避難時の持ち出し袋は、人間用とペット用を用意している。
16. ペット用の持ち出し袋には、3日分のペットフードと飲み水、ペットシートなどを入れてある。
17. 万一の時は町内やご近所の人たちと互いに協力して助け合う。
18. 愛犬や愛猫を一時的に預かってもらうことができる親戚や友人を見つけてある。
19. ケージやキャリーバッグなどのクレートの中に、おとなしく入っていることができる。
20. 避難所では、犬や猫が苦手な方もいるので、少しの迷惑や不快感を与えないよう十分に配慮する。

✓の合計数 個

あなたの愛犬・愛猫と「一緒に避難できるか度」はどうでしたか？愛犬・愛猫たちも家族の一員。避難が必要になった時は愛犬も愛猫も一緒に連れて避難できるよう普段から十分に準備をしておきましょう。

あなたと愛犬・愛猫の「一緒に避難できるか度」は？
✓の数

16個以上	🌸	達人レベル たいへんよくできました
11～15個	○	上級レベル よくできました。達人をめざしましょう
6～10個	△	中級レベル もうひとがんばりお願いします
5個以下		まだまだ初心者 ✓を増やしていきましょう